

市民に市政が見える 所信表明を 渡辺 勉



3期目の市長が市民に約束した所信表明について質問しました。

2月議会での「市政執行方針」は第3期基本計画の6章にあわせて6つの分野に分け、「所信表明」では、5つの政策と40の施策とされていることで、両者のかかりが見えないことから、市民にとってはわかりにくいと指摘しました。

JR登別駅のバリアフリー化の質問には、2月議会での答弁をより積極的に取り組んでいるとのことでした。観光まちづくり円卓会議や登別地区観光まちづくり協議会などの取り組み状況については、全市観光の視点から、利用者は観光客だけではなく、高齢者や障がい者、これから移転・開院するであろうJCHO登別病院の通院者もあり、文字どおりバリアフリー化のための全体的な取り組みをすることでJR側への大きなアピールになると提案しました。

また、温泉街の耐震化新補助制度など、財見通しが示されていないことへの市民の不安の声を届けました。

経済循環と 地域活性化について 成田 昭浩



本市を訪れる人々が市内全域を巡ることによる経済効果の循環や地域資源の有効活用な

どの課題には以前から取り組まれています。その効果を実感できていないのが現状です。そこで、経済波及効果の分析や検証、地域資源の活用促進、さらには、まちのシンボル・活性化の起爆剤としての「道の駅」の必要性と本市の考えについていただきました。

波及効果については、本市で開催された日本女子ゴルフ選手権大会を例に挙げ、その分析や検証のあり方をいただきました。市内全域や関係機関を考慮した綿密な調査・分析は十分とはいえず、検証の必要性を指摘し、今後に向けた提言をしました。

道の駅に関しては、先進事例、失敗事例など検討すべき多くの材料があるにもかかわらず、積極的な検討や市としての明確な将来像は聞けません。民間が主導するプロジェクト会議への協力はもとより、行政の手腕をフルに活用しリードして取り組むべきといただきました。

議員の紹介

7月15日告示の登別市議会議員補欠選挙で当選されました新議員を紹介します。



みや たけ しゅう こ
宮 武 祥 子

所属会派	市政クラブ21
所属常任委員会	総務・教育委員会 予算・決算委員会

※詳細については、市議会ホームページをごらんください。



平成28年第3回定例会における 議案の賛否状況 (挙手採決議案のみ掲載)

議案	賛成議員	反対議員	結果
登別市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について	井野、小栗、木村、工藤、千田、成田、戸井、田松、二瓶、山井、宮武、米田、村若	渡辺、佐々木	修正案を採決可決

北海道市議会議長会道南支部 議員研修会が開催されました

平成28年10月13日、函館市で北海道市議会議長会道南支部議員研修会が開催されました。

開催市の函館市をはじめ、北斗市、伊達市、室蘭市、苫小牧市、登別市の議員約130名が集まり、「新幹線時代の青函交流〜観光まちづくりの課題〜」と題し、函館工業高等専門学校の奥平理教授を講師に迎え、講演いただきました。

函館市と青森県には、方言をはじめめく文化や祭りなど共通するものが多いとの紹介があり、これからの新幹線時代においては、北海道新幹線の開業効果を持続させるために、両地域の共通性を生かした青函連携が欠かせないとのことでした。

本市は、北海道新幹線の沿線ではないことから、青函連携の延長として、函館市や札幌市と連携した広域での観光ルートを構築する必要があると感じました。

(佐々木)